

4

青梅市の現況動向からみたまちづくりの課題

これまでの、社会経済情勢の変化と、これに対応したまちづくりの視点に加え、青梅市の現況動向からみたまちづくりの課題を整理しました。

ア 青梅市の歴史・文化などの個性の伸張と継承

- 市域の6割を占め、鎌倉時代の昔から^{きまのぼ}杉保としての歴史を持つ山林の保全・継承とそれを支える林業の再生
- 林産資源を背景として栄えてきた歴史を伝える、塩船観音や武蔵御嶽神社などの神社仏閣をはじめとする歴史的な建造物、文化財の保全と活用
- 陣屋^{いぢ}や市のまちとして、また、青梅編などの織物文化を伝える青梅宿の街なみの保存・再生
- 新田開発の歴史資産や、後世に残された土木遺構、文化人が戦中・戦後に居を構えた梅郷・沢井地区に集積する記念館や美術館などの活用

イ 豊かな自然環境の保全と活用

- 山地や丘陵地、多摩川をはじめとする河川などの自然環境の積極的な保全施策の推進
- 保養、レクリエーション、アウトドアスポーツ、自然観察、環境学習などの場としての活用
- 開発行為、建築行為の規制や採石場跡地の自然環境の復元と有効活用



自然環境の活用

ウ 残された貴重な農地の保全

- 露水田などの残された貴重な農地は、生産機能だけでなく、治水や環境保全、景観などの農地の持つ多面的な機能を重視するとともに、市民が農業にふれあう空間としての維持・保全

エ 市街地環境の整備・保全

- 自然環境や歴史的街なみと調和した建築物の高さの制限や景観誘導
- 生活道路の安全性向上などの生活環境整備
- 千ヶ瀬町の青梅街道など、幹線道路沿道における適正な土地利用の検討
- 崖線緑地^{*}などの斜面緑地や、丘陵地から連続する緑や社寺林など、市街地内の緑の積極的な保全
- 緑地機能や、災害の拡大防止機能、一時避難地などの多面的な機能を重視し、良好な都市環境の形成に役立つ生産緑地地区^{*}の適正な維持・保全や制度の活用

オ 交通環境の改善

- 採石や土砂の運搬車両、観光車両の多い成木街道、吉野街道などの幹線道路における歩行者空間の確保
- 北部山間地と市街地を結ぶ交通体系の充実
- 整備方針にもとづく都市計画道路の整備促進
- 公共交通空白地域の解消

カ 山間地集落の生活環境の整備

- 人口減少や少子高齢化の顕著な集落地の生活サービスの確保
- 既存集落地域における下水道などの生活環境の整備
- 住宅や生活利便施設などの土地利用誘導による活性化やコミュニティの維持



成木地区の風景